

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	スペースあい (多機能型 児童発達支援みい)	公表日 令和8年2月28日
------	------------------------	---------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	放デイとの兼ね合いもあり助かっている部分もあるがなかなか休みにくい状態である。	人材増員にも力をいれる。児童に関われる人材育成。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	△	まだ歩行できない児童も這う遊びを通して日々体幹を鍛えることで大きく成長していく姿を見てきているので、バリアフリーにはしていない。階段も這って上がることや手押し車をするなど活動にも利用している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	△	・室内用小型オゾン除菌消臭器を使いウイルスの除菌を行っている。 ・毎日の掃除・アルカリ電解水を使用し除菌もやっている。	・机などは移動式にしているので必要に応じて動かしている。 ・サーキットに使用する道具もその都度、移動させる。その子に合わせた対応可能。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	イベントはPDCAを考えて取り組んでいる。	日々の話し合いの中で無意識に行っていることが多いので改めて意識して行ったり記録に残すよう改善。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	△	ホームページに載せ、玄関などにも啓示を行っている。	理解していない方もいるので、掲示していることなど伝えることも必要になるので、検討する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	△	話し合う時間をとっている。	業務改善につなげるのが難しい。しっかり検討していきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		検討中
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部で受けて研修を所内研修で伝えている。参加できないスタッフには動画をとるなどして伝えられるようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページを毎年、更新している。	更新したことを伝え回覧してもらえよう改善。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者との日々の対話や面談など行うことで把握する機会を設けている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		関わるスタッフでケース検討会議を定期的に行い見直しをしている。一人ひとりであった計画書作成を心がけている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		事情によりケース検討会議に参加できなかったスタッフにも回覧や口頭説明などを通して共有できるようにしている。	より計画に沿った支援を行うために見える化する工夫の提案があったので、次年度から検討していきたい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		一人ひとり特性が違うので、その子に合った活動内容に変更したり、その日の子どもたちの様子で活動を変えている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	△		朝は迎え入れがあるため余裕がないのが現状。前日に翌日の話し合いをすることに。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		その日の支援での出来事はできるだけ話し合う時間を取っている。	時間を決めてやっていないので、日々の業務形態に翌日のことについて今日の支援についての会議時間を確保する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		サービス記録・日誌に書き残している。必要なことは改めて個別ファイルにメモ記入します。	ケース検討会議などで話し合っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		お子さんに関わる相談支援員・保育士・保健師の皆さんと連携を取り連携を図っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		園の先生と、連携しお子さんにあった支援が提供できるよう協力して貰っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		学校への見学の付き添い・先生の訪問などの受け入れを行っている。学校での情報交換会への出席もしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		センター主催の研修会等へ参加し理解を共有し助言をもらっている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		近くのこども園との交流会は検討しています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		サービス記録のやり取りや面談・メールなどにより連絡をこまめにとり共通理解の場を設けている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	家族支援を行い情報提供もしている。	家族が参加できる研修は検討中です。柱としている川添理論の研修は年1開催しているが、日曜開催ということもあり保護者の参加は難しいという意見もあります。	
4	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		施設内(玄関)に掲示し、契約のときに施設長から説明させてもらっています。	支援プログラムも掲示する案が出たので検討していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		サービス記録のやり取りや面談・メールなどにより連絡をこまめにとり、助言と支援を心がけています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		イベントを通じて保護者同士の交流の場を設けています。きょうだいも参加できるマルシェも開催しました。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		メールなども利用しなるべく早い対応を心がけています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		定期的にブログの更新・月のお便り・イベントのアルバムを通じて発信させてもらっています。	ブログの更新のお知らせをする案が出たのでやっていきたいと思っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		マルシェを開催し、地域の方や園の先生方も参加してもらえました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		9月（火事）・3月（地震）の避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットの共有しています。事前に危ないと思われる個所にスポンジをまくなどの工夫をしています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				